

町長あいさつ



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より、町行政にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

はじめに、昨年、元日に発生した石川県能登半島地震、9月の奥能登豪雨により、お亡くなりになられた方々に謹んで深い哀悼の意を表し、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。そして被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

昨年、大野町は、町村合併促進法による岐阜県合併第1号として昭和29年4月1日に合併し、大野町として発足して以来、70周年を迎える節目の年でありました。町では、今日までの歴史と70年間の歩みを振り返り、今後より魅力あふれるまちづくりを進めるため、様々な合併記念事業を実施してまいりました。11月には記念式典を開催し、町民の皆さまとお祝いするとともに、誇りや愛着を感じていただく機会となりました。昭和、平成、令和という激動の時代のなかで、幾多の困難に直面しながらも、これを克服し、町政が発展してまいりましたのも、それぞれの時代をひたむきに精一杯生き抜いてこられた町民の皆さまのふるさとを愛する思いとそのご尽力の賜物であり、心から敬意を表します。

今年は、町政運営の最上位計画で、まちづくりの指針である大野町第七次総合計画が新たにスタートします。町を取り巻く環境は大きく変化しており、令和8年度中には、東海環状自動車道の全線開通が予定されています。大野神戸IC周辺では、今年中にはイビデン株式会社大野事業場の一部操業開始が予定され、道

の駅北側には宿泊施設と商業施設を併設した複合施設の進出が決定し、協定を締結したところでございます。東海環状自動車道の全線開通により、人・物の流れが大きく変わり、今後さらに様々な整備効果が期待されます。この契機を最大限に活かし、地域経済の活性化や雇用機会の創出につなげるよう、引き続き官民一体となって取り組んでまいります。

一方、町の年間出生数が100人を下回る状況が続くなど、少子高齢化が急激に進んでおり、町としても将来のために、こども園の統合や小中学校のあり方の検討、そして、公民館のコミュニティーセンター化など、時代に対応したまちづくりを進めていく必要があります。大野町第七次総合計画では「つながるまち おおの」をコンセプトに「健康・福祉」「子育て・教育」「環境」「観光」「企業誘致」の5Kを重点テーマに位置づけ、まちづくりを進めてまいります。そして、今後生まれてくるこども達や地域とのつながり、そして周辺市町との連携を大切にしながら持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、今後も町の将来像「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」を実現するため、町民の皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸を謹んでお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

令和7年1月 大野町長 宇佐美 晃三



議長あいさつ



新年 あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を健やかに迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

はじめに、昨年元日の石川県能登半島地震、また9月の奥能登豪雨により被災されました皆さまへお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈りいたします。

日頃は、本町の町政運営ならびに議会活動に対しまして、皆さまのご理解とご協力、そして温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、大野町合併70周年の節目の年ということで様々な記念事業が実施され、先人の方々が築き上げてきた町の歴史や文化を振り返るとともに、町の魅力を広く内外に発信することができる良い機会となりました。また、町のビッグプロジェクトとして推進する大野神戸インターチェンジ周辺を中心とした諸施策も佳境を迎え、平成30年の「道の駅パレットピアおおの」の開駅、令和5年の本町初となる総合病院「西濃厚生病院」の開院に続き、本年にはイビデン株式会社大野事業場の一部操業が予定され、今後の更なる町の発展に寄与するものと期待をしているところで

一方で、国においては、新たに第2次石破内閣が発

足しました。衆院選では与党が過半数割れとなる結果となり、政治資金問題などに端を発する国民の声が顕著に表れた選挙結果となったのではないかと思います。政治の混迷が強まる中、野党を交えて一層の議論を尽くし、よりよい政策が進められることを強く願うものです。

町政を取り巻く社会情勢に目を向けますと、少子高齢化や人口減少、激甚化する自然災害、地域力の低下等、喫緊の課題は依然として山積しております。行政需要がますます複雑・多様化の一途をたどる中、令和7年度からは新たに第七次総合計画がスタートします。新たな総合計画の下、町民の皆さまの住みよいまちづくりの実現に向けて皆さまのニーズを的確に把握するとともに、開かれた議会運営を念頭に置き、議員一人ひとりの研鑽に努め、町当局との連携を深めながら、議会議員一同一層邁進してまいります。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして実り多き年でありますとともに、健康で幸せに満ちた1年となりますよう心から祈念申し上げ、私の新年のごあいさつとさせていただきます。

令和7年1月 大野町議会議員 山川 満

1月は「家庭の日」普及実践強調月間です

～「家庭の日」を通して深めよう家族の絆～

県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として、明るく温かい家庭づくりを推進しています。この活動を一層推進するため、新しい年の出発に当たる1月を「家庭の日」普及実践強調月間として、普及実践を図っています。

◎強調月間の目標

「自立した青少年を育む心豊かで明るい家庭づくり」
「青少年と築く、開かれた地域づくり」

- ・家族そろって食事をし、団らんのひとときをもちましよう。
- ・家族みんなで力を合わせて家の仕事や作業をしましよう。
- ・家族みんなで地域の行事や活動に参加しましよう。

町青少年育成町民会議では「家庭の日」の普及実践を進めるため、小中学生の皆さんに対して図画・ポスターおよび作文を募集し、優れた作品に賞を授与したり、展示会を開いたりしています。

◎図画・ポスター展示会開催予定

期間 1月7日(火)午後1時
～15日(水)

場所 総合町民センター1階
ふれあいギャラリー

内容 県出品作品4点

小学生の部(図画) 県入賞作品



「家族みんなで花火」

北小学校6年 日置果奈さん



「あゆを食べたよ」

北小学校3年 今西世空さん



「宮島の短い旅行」

中小学校5年 美濃羽芽生さん